

令和3年度 セーフティ教室 指導略案 4年1・2・3・4組

日 時 令和3年6月12日(土) 3校時
 児童数 1組33名 2組33名 3組33名 4組 34名
 指導者 4年 1組 担任 川島 悠太
 2組 担任 小坂 亜希
 3組 担任 白須 隆
 4組 担任 二本木 基

1. 活動名 住みよい街をつくりたい！～地域安全マップ～
2. ねらい 地域の中で事故や犯罪に巻き込まれそうな危険な場所や安心・安全に生活ができる場所を発表し、危険から身を守るために必要な行動を考える。
3. 展 開

学習過程	学 習 活 動	指導上の留意点
導入	1 「地域安全マップ発表会の流れ」を確認する。	・安全、安心な点とそうではない点について要因の視点を確認してから発表会に臨ませる。
発表	2 発表会をする。 <発表する人> ○ 学校の周りの地域を分けた7グループごとに、自分たちが調べた安全・安心な点とそうではない点、それらのことから考えられる点について発表する。 ・塀が高くて、周りから見えにくい危険な場所です。 ・昼でも暗く、人通りが少ないです。	・グループを2つに分け、発表しない時は他のグループの発表を聞く。 ・聞き手に伝わるようにはっきりした声で発表する。
	<発表を聞く人> ○ 他のグループの発表を聞き、危険な場所や安全な場所を知る。 ○ 自分が事故や犯罪に遭わないためにできる行動を考える。 ・見通しの悪い交差点では一旦停まることを意識する。 ・人通りの少ない道なので、登下校の時は友達と帰るようにする。 ・ごみはルールを守って決められた場所に出そう。 ・落書きをしている子がいたら注意しようと思う。 ・地域の人々が、自分たちの安全を見守ってくれていることに感謝したい。	・自分のこれからの行動についても考えさせながら、発表を聞かせる。
まとめ	4 今日の学習の感想を発表する。	・学習したことを振り返り、今後の生活に活かすようにさせる。